

JPNIC 中期的な事業戦略と方針について (2024年度版)

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)



JPNICの理念



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2024 Japan Network Information Center

▶▶▶ JPNICの理念

JPNICは、豊かで安定した
インターネット社会の実現をめざし、

公正・公平・中立、

責任と信頼、連携と協力、

チャレンジ精神の考え方にに基づき、

インターネット基盤の健全な運用を

支えるとともに

社会的な諸課題の克服に貢献する

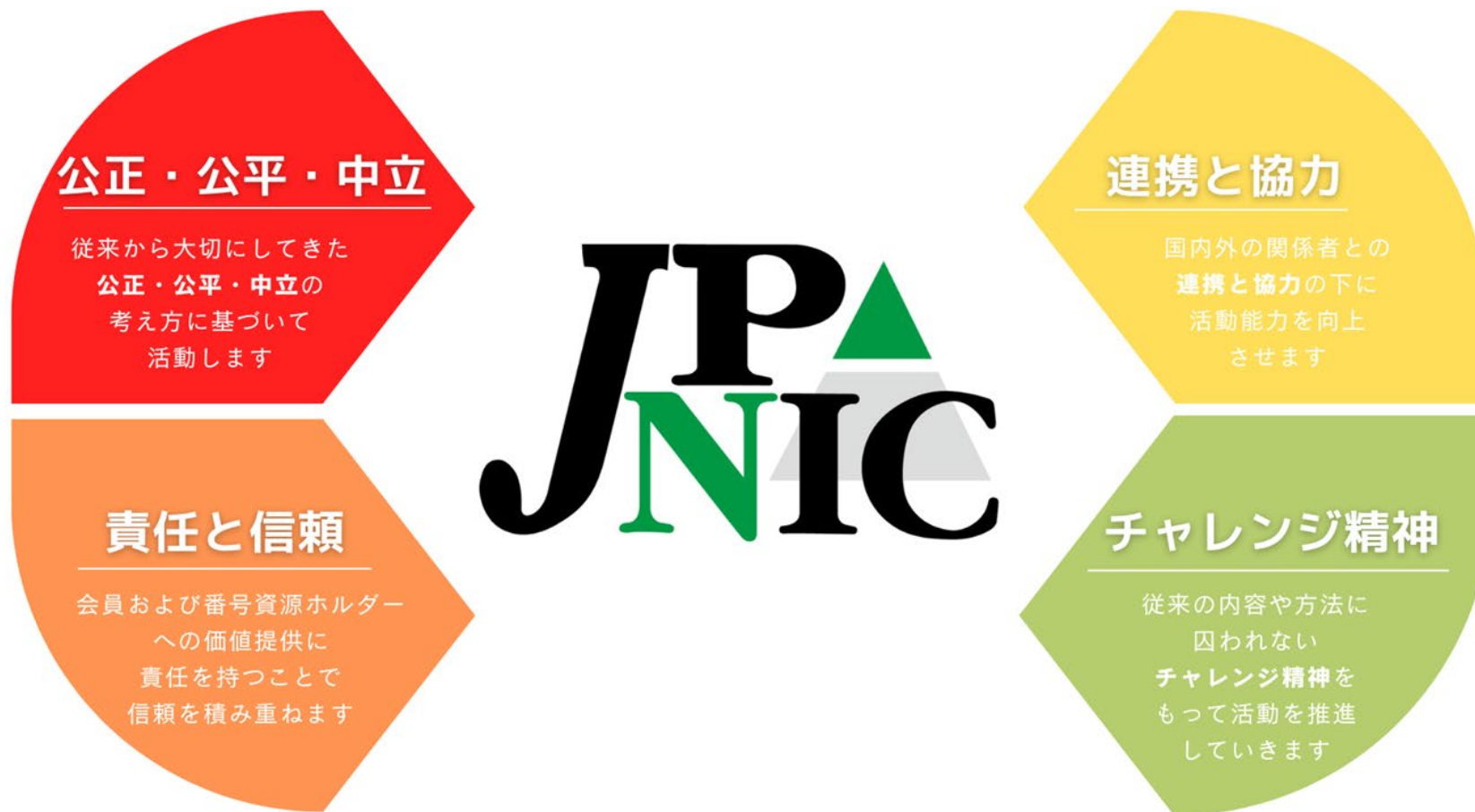
活動を行います。



※インターネットの構成要素が協調的に運用され、インターネットとして全体的に機能するために必要となる要素

▶▶▶ 理念実現に向けたJPNICの行動指針

理念に掲げた4つの行動指針を、会員、役職員をはじめとする関係者やコミュニティと共有しながら、理念実現に向けて取り組みます。



▶▶▶ 中期的な事業戦略と方針について

- 2021年度に見直しを行った「JPNICの理念」の実現に向け、5つの戦略的な取り組み領域を定めました
- 2023年度は具体的に、その5つの戦略的取り組み毎に、検討グループを設け、検討を進めました。今回はその検討状況と今後についてご報告いたします
- これらの検討をベースに、各年度の事業計画案にも、具体的な対応策を盛り込んで取り組んでまいります

Q JPNICらしさとは？ Q

“情報”を強みとした活動を中心とし
グローバルな視点と責任を踏まえて
情報の収集、管理、共有、発信を行う



現状分析



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2024 Japan Network Information Center

▶▶▶現状分析（外部環境）



■ 一般的な環境

- インターネット利用の拡大・社会インフラ化の進展
- プラットフォーマーの隆盛によるインターネット基盤のサービス化
- インターネット基盤技術に関する運用知見や興味関心が希薄化することで基盤運用人材の不足が深刻化
- 世界的なインターネットガバナンス議論の隆盛
- 円安およびインフレ継続に伴う費用増

■ レジストリ分野における環境

- IPv4アドレスの枯渇
- RIRガバナンスの脆弱性露呈により運営体制とガバナンス強化の必要性が増大
- RPKI技術の普及と重要度の増大
- APNIC会費の継続的な増加



▶▶▶現状分析（内部環境）

■ 活かせる強み

- インターネット関連団体としての信頼と実績
- レジストリとしての中立的なポジション
- 長年蓄積されたコンテンツと情報
- 会員組織基盤と番号資源管理者(1500組織)とのリレーション

■ 克服すべき弱点

- 事業運営に十分な人材確保と育成が必要
- 事業費用の増大
- 会員減少傾向の継続
- 経年によるIPレジストリシステムの陳腐化
- 情報の出し方の工夫が必要（情報があるが探せない、検索機能・分類が弱い）



理念実現に向けた取り組み



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2024 Japan Network Information Center

各取り組みのフォーカス1



目標	<ul style="list-style-type: none">・ 会員とのコミュニケーション、エンゲージメントの強化・ 価値提供を増やす・ 結果として、JPNICとしての活動をより推進させる
検討・実施事項	<ul style="list-style-type: none">・ ニーズ把握のための予備調査／個別ヒアリング／分析・ ヒアリングに基づいた施策検討、一部実装
方針・今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 継続的にコミュニケーションや対話を図り、会員の課題や潜在ニーズを調査。また理念実現に向け価値観共有を実施<ul style="list-style-type: none">➔ ・ アンケート等の調査・ヒアリングについては、継続的に実施・ 課題への対応、サポートを行うことで会員エンゲージメント向上につなげる・ また、会員と連携したインターネットの技術的・社会的課題解決の検討も行う・ 2023年度に多く寄せられたニーズである人材育成について、コンテンツ開発、基盤技術に関する情報提供を行う<ul style="list-style-type: none">➔ ・ インターネットの拡がり・多様化に伴い、意識しづらくなっているインターネット基盤、ビジネスに欠かせない「ガバナンス」「セキュリティ」といった側面も含め、適切な情報やカリキュラム等を準備する・ あわせて若手の育成に力を入れる

各取り組みのフォーカス2

レジストリ業務の取り組み

目標	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレス事業の継続性、安定性の維持
検討・実施事項	<ul style="list-style-type: none"> APNIC会費変更の状況把握とIP事業費用推移の分析、試算、会費との関係性を踏まえた対応策の検討 IPレジストリシステム見直し計画の確認
方針・今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレス維持料改定の調整実施→具体的な料金案（計算方式）と進め方をアドレスホルダ、会員との調整を進める IPレジストリシステム見直しの具体化

広報普及啓発活動の取り組み

目標	<ul style="list-style-type: none"> JPNICおよびJPNICの取り組みに関する認知の拡大と理解のさらなる向上
検討・実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 広報・普及啓発の対象について情報提供手段や媒体の最適化
方針・今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 最適化された手段、媒体を活用しての適切かつ効果的な情報提供

各取り組みのフォーカス3

社会的課題等
への取り組み

経営体制
と
財務体制

目標	<ul style="list-style-type: none"> インターネットに関する技術的、社会的な諸課題の克服
検討・実施事項	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取り組みの再定義と明確化によって「課題探索・同定機能（仮）」を定めて、取り組みイメージを確立した
方針・今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 試行（探索対象：IW, インターネット白書、テーマ：RIR 運営体制など）による細部の確認とワークフローの規定
目標	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な事業運営体制、収益基盤の確立
検討・実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 中期的な事業収支見通しの検討、試算 今後の人員見通し/予測の分析と人員確保のための計画検討
方針・今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 中期的な収支管理と定期的な見直し、収益確保のための施策実行、事業推進のための体制整備、人的資源確保の検討 適切な収支管理サイクル確立、社内体制、制度の見直し

▶▶▶ 戦略的取り組みと各事業の実施項目について

- 戦略的取り組み課題として検討した施策については、原則として各事業の業務に取り込んで推進する
- 社会的課題や広報など事業横断的な取り組みについては、検討グループを中心に各事業部と連携して推進する

	会員の皆様との取り組み	レジストリ業務の取り組み	広報・普及啓発の取り組み	社会的課題等への取り組み	経営、財務の取り組み
IPアドレス事業		IPアドレス維持料見直しに関する調整 IPレジストリシステム見直し			
インターネット基盤整備事業	人材育成コンテンツの開発 定期的な会員ニーズ調査と価値提供の検討		各戦略的取り組みや、各事業についてのコミュニケーション計画策定	各事業と連携による課題解決に向けた取り組みの推進	
全体(管理部門)					収支計画の管理 人材確保、体制整備